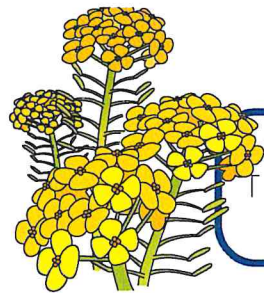




ももの実



玉北中 校長だより 133
「ご意見頂戴しました。」号
令和8年3月18日(水)

ご意見をいただきました。

2月20日(金)の午後には、地域の主任児童委員や保護司、

第1部【校長室】

開会・本日の予定(校長)

第2部【食堂・情報教室】

①給食活動の参観

②本日のメニューと本校の食育(栄養教諭)

③生徒会執行部とのランチミーティング 協議テーマ『めざす玉島北中学校像とは』

④令和8年度の年間行事予定(教務主任)

第3部【校内】

5校時の授業参観

第4部【校長室】

①生徒の様子・令和7年度の学校行事の振り返り 学校評価アンケート結果(校長)

②令和8年度の学校経営方針(校長)

③令和7年度の地域連携事業(地域連携CO)

④今後の働き方改革や地域連携の推進(校長)

⑤質疑

⑥閉会

※CO: コーディネーター



本校のPTA役員の方を委員としてお迎えし、玉島北中学校の『第2回学校運営協議会』兼『第2回地域学校協働本部事業実行委員会』を行いました。

学校運営協議会(コミュニティスクール)

地域住民や保護者が校長といっしょに学校経営の基本方針等について熟議し、決定していく組織。学校運営に地域の意見を反映し、開かれた学校づくりや、地域の特徴を生かした独自の教育活動を実現することを等を目的とする。

※学校づくりのための活動

地域学校協働本部事業

地域住民や保護者、ボランティア団体等が連携して子ども達の学びや成長を支え、同時にその活動を通じて地域の活性化をめざす。学校を核とした魅力ある地域づくりを目的とする。

※おもに地域づくりのための活動



生徒会執行部と委員の皆さんが考えた『めざす玉島北中学校像』

- 地域に愛され応援される中学校
- 恵まれた学習環境に感謝し、玉北中生としての誇りをもって、全力で学習活動に取り組むことができる中学校
- 夢や目標を大切にすることができる中学校
- 地域の文化(祭りや歴史等)を大切にすることができる中学校
- 人権意識をもち、さまざまな立場(国や文化・個性等)の子どもが違いを認め、互いに関わり合うことができる中学校



本校生徒会は今年度、岡山県教育委員会による新規事業『だれもが行きたくなる学校づくり』応援プロジェクトに『地域を巻き込んだ防災意識の向上』というテーマでプレゼンを行い、対象校に選出され補助金をいただきました。これを活用して作成した本校オリジナル『避難袋』を、防災グッズリストとともにプレゼントします。委員の皆さんも趣旨をご理解いただき、ぜひご活用ください。

委員の方から貴重なご意見をいただきました。(一部紹介)

- 学校評議員会の時代から、委員のメンバーがほとんどかわっていない。校長の提案どおり、異校種(大学の先生)や青少年を育てる会の代表者など、新しいメンバーに入ってもらい、新しい視点で意見をもらうのが望ましいと思う。
- 学校外の施設との連携を強化し、不登校生徒をさまざまな立場からフォローできるように努めてもらいたい。
- 生徒と食事をしながらお話しできるのを毎回楽しみにしている。
- 学校の働き方改革は地域としては残念、しかし教員の親としては子が家業を頻繁に手伝い、親との会話が増えたのでありがたい。



※令和8年度第1回は、6月26日(金)を予定しています。